

作成日 令和2年3月5日

サークル名	chamu	発表者	下山 美沙 鯨谷 香織
部署	4階東病棟	リーダー	上藤みどり
活動期間	開始：平成30年7月3日 終了：平成31年4月3日	サブリーダー	香川 梨華
会合状況	会合回数 12回 一回あたりの会合時間 30分	メンバー	
所属長／推進メンバー	川崎師長	所見欄	
レビュー担当者	永澤医師 野田看護副部長		

テーマ

4東病棟における入院オリエンテーションの見直し

テーマ選定理由

4階東病棟では、手術を目的とした入院が多い。入院オリエンテーションは、入退院支援センターでも行われており、病棟の設備に関するオリエンテーションは看護助手が行うこともある。病棟生活や手術に関するオリエンテーションは患者1名に対し病棟看護師1名が行っている現状である。平日入院は、チームカンファレンスや午後からの検査呼び出し、ナースコール対応、手術終了後の迎えなどと重複することが多いことから、患者の待ち時間を長くしたり、看護師も業務の中に入院に関する業務が占める時間が多いため感じている。患者が安全かつ安心して手術に臨み、入院生活を送るためには入院時のオリエンテーションはとても重要である。そこで、改めて入院に関する看護業務の整理を行い、時間の有効活用や看護師の満足度の向上を目的として、入院オリエンテーションの見直しをテーマにTQM活動をおこなうこととした。

現状把握

現状を把握するために4東看護師を対象にアンケートを実施

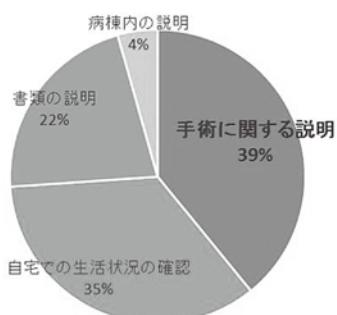
①入院にオリエンテーションにかかる時間は？

20分～30分が45%と最も多く、次いで30～45分が40%，10分～20分が15%という結果となった。

②最も時間がかかる項目は？（自由記載）

図のように手術に関する説明に最も時間を要すという回答が得られた。

最も時間のかかる項目は？（自由記載）



③入院対応にストレスは?

「ある」が65%、「ない」が35%という回答が得られた。

〈ストレスがある理由〉

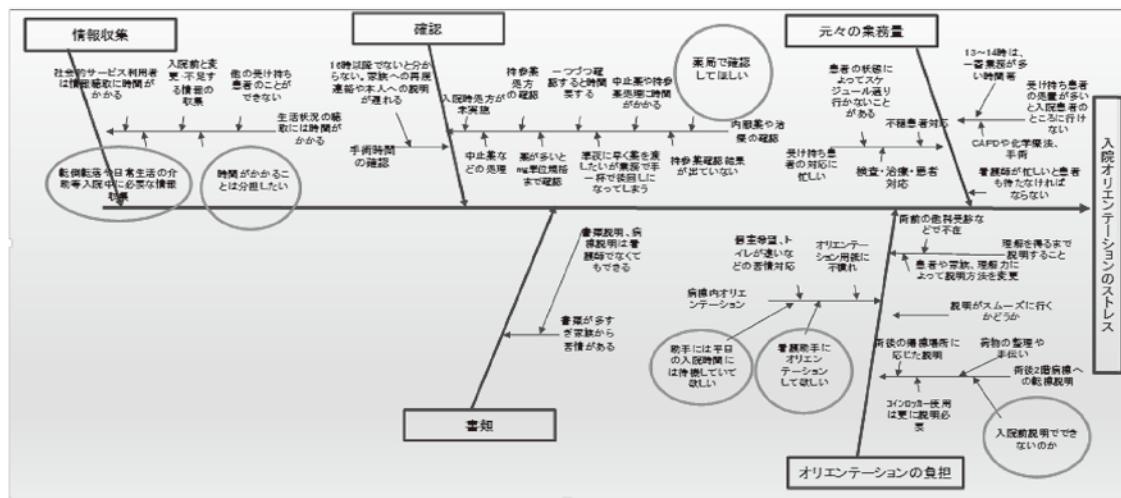
- ・介護保険などのサービスを受けていれば生活状況を聞くのに時間がかかる
 - ・受け持ち患者の処置が多いと入院患者のところにいけない
 - ・カルテ入力、内服薬や入院後の治療に確認があるため
 - ・手術後2階に転棟する患者への説明があるから
 - ・家族を含め理解してもらえるように何度も説明しなければならない

④入院オリエンテーションの時間が削減できたら何ができる？

- ・他の業務ができ、時間外が減る
 - ・チームカンファレンスを実施する
 - ・受け持ち患者の処置や検温、ケアなどの時間にあてることができる
 - ・入院患者に必要なND立案をおこなう

要因解析

アンケートの結果から、4東病棟での入院オリエンテーションにおける看護師のストレスについて、フィッシュボーンを用いて課題を絞り込んだ。



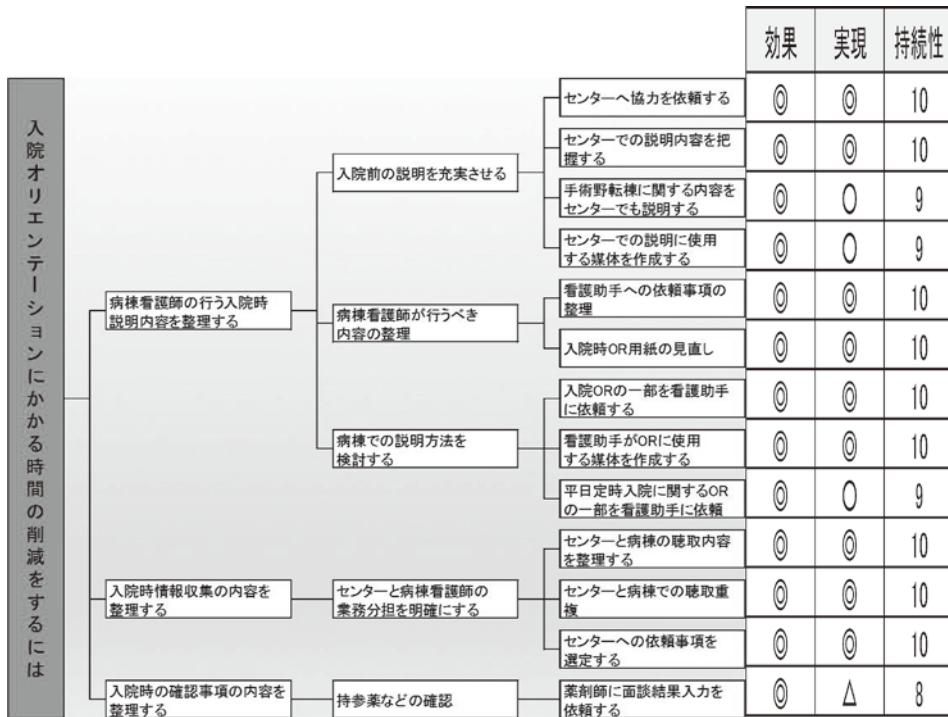
目標設定

入院オリエンテーションの見直し後の結果として以下の3点とした。

- 看護業務内に占める入院オリエンテーション時間が減少する
 - 看護師の入院オリエンテーションに関するストレスが軽減する
 - 看護師の業務時間の有効活用ができる

対策立案

3つの主要因に対して対策を検討し、評価10点以上に該当する項目に対して対策を実施することにした。



対策実施

実施①

入退院支援センターを見学し過不足する部分を把握し、問診票の追加・修正をおこなった。

図) 修正された問診票

入院される方へ		4層病棟用	
この度の入院に際して、ご心配のことと思います。 入院中の医療生活を支障していたら、入院される前の様子をわかる範囲で教えてください。 尚、この用紙はできる範囲でご記入の上、转送され入退院支援センターへ提出料金のお支払い下さい。			
入院される方の氏名		性別 年齢 cm	
<input type="checkbox"/> 漢語で教えてください。 ○ お年寄りがつぶやくように話しかけていたり 1番目 お名前 (姓) 電話 携帯電話 2番目 お名前 (姓) 電話 携帯電話 3番目 お名前 (姓) 電話 携帯電話		<input type="checkbox"/> 誰と一緒に住んでおられますか。 誰がどの項目に答えてください。 父母 爪 母 爪 実子 子供 兄 弟 姉 弟 その他	
<input type="checkbox"/> 現在の食事はどんな食事ですか？食べる量はいかがですか。 食事 食事量 食事は普段と変わらない 半分くらい 食べられない 食事の量、皿せはありますか？ あり なし		<input type="checkbox"/> 入れ物をしておられますか。 なし 入れ物 一部入れ物 プリック	
<input type="checkbox"/> 入れ物をしておられますか。 なし 入れ物 一部入れ物 プリック		<input type="checkbox"/> めがね・コタクタレンズ・補聴器など使用されていますか いいえ いいえ めがね・補聴器・コンタクトレンズ	
<input type="checkbox"/> 聞覚、しゃべりにくさなどがありますか ある ない		<input type="checkbox"/> 聴覚、しゃべりにくさなどがありますか ある ない	
<input type="checkbox"/> アルコールは飲まれますか。 飲む 1日にビール(本)・日本酒(合)・焼酎(杯)ぐらい 週に 日 飲みません		<input type="checkbox"/> 体の動かしに困りますか ある ない	
<input type="checkbox"/> アルコールは飲まれますか。 飲む 1日にビール(本)・日本酒(合)・焼酎(杯)ぐらい 週に 日 飲みません		<input type="checkbox"/> 体の動かしに困りますか ある ない	
<input type="checkbox"/> 寝起きされますか。 ない ()夜一日 ()夜間 ゆめのめの方は便便がされている回数 ()回 ()回まで いいえ		<input type="checkbox"/> 寝起きされますか。 ない ()夜一日 ()夜間 ゆめのめの方は便便がされている回数 ()回 ()回まで いいえ	
<input type="checkbox"/> 夜間もよく起きていますか。 ない ()夜一日 ()夜間 ゆめのめの方は便便がされている回数 ()回 ()回まで いいえ		<input type="checkbox"/> 夜間もよく起きていますか。 ない ()夜一日 ()夜間 ゆめのめの方は便便がされている回数 ()回 ()回まで いいえ	
<input type="checkbox"/> 夜間もよく起きていますか。 ない ()夜一日 ()夜間 ゆめのめの方は便便がされている回数 ()回 ()回まで いいえ		<input type="checkbox"/> 夜間もよく起きていますか。 ない ()夜一日 ()夜間 ゆめのめの方は便便がされている回数 ()回 ()回まで いいえ	
<input type="checkbox"/> 夜間もよく起きていますか。 ない ()夜一日 ()夜間 ゆめのめの方は便便がされている回数 ()回 ()回まで いいえ		<input type="checkbox"/> 夜間もよく起きていますか。 ない ()夜一日 ()夜間 ゆめのめの方は便便がされている回数 ()回 ()回まで いいえ	
<input type="checkbox"/> 現在内服されている薬・点滴薬・軟膏・注射などがありましたがらずへ飲み下さる。また手帳をお持ちの方、プリントも持参してください。		<input type="checkbox"/> 現在内服されている薬・点滴薬・軟膏・注射などがありましたがらずへ飲み下さる。また手帳をお持ちの方、プリントも持参してください。	
<input type="checkbox"/> お手元の病院、医師名		<input type="checkbox"/> お手元の病院、医師名	
<input type="checkbox"/> 今までかかった病院や、現在治療をうけておられる病院ありますか。		<input type="checkbox"/> 今までかかった病院や、現在治療をうけておられる病院ありますか。	
用意済	病名	治療法	治療状況
連続入院、要介護度一歩前() に今までかかった病院記入		治療中 治療 連続入院、要介護度一歩前() 治療中 治療 連続入院、要介護度一歩前() 治療中 治療 連続入院、要介護度一歩前() 治療中 治療	
<input type="checkbox"/> 今までに薬物や造影剤、食物、虫類・ゴムなどで、異物・導尿管・シャーベットなどの機器・器具などで、当院で 水分不調などを起こしたことありますか。(ナット・オウツ・オガカ・瓶などの容器)		<input type="checkbox"/> 今までに薬物や造影剤、食物、虫類・ゴムなどで、異物・導尿管・シャーベットなどの機器・器具などで、当院で 水分不調などを起こしたことありますか。(ナット・オウツ・オガカ・瓶などの容器)	
あると答えた方は具体的に教えてください			
誤字を記載あり			

改善ポイント

- 患者背景を把握しやすいよう家族背景項目の充実化
- サプリメントなどを含む薬剤記入欄の追加
- 介護度やサービスの利用状況記入欄の追加

実施②

4 東病棟用パンフレットの追加・修正をおこなった

図) 修正された病棟用パンフレットの一部

手術を受けられる患者様・ご家族のかたへ

<患者様>

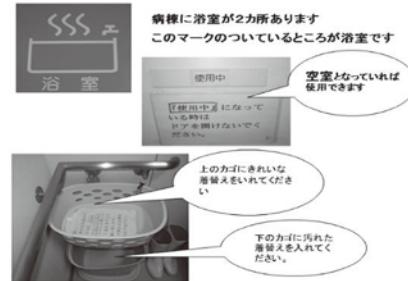
- 前日は夜21時から絶食、24時から絶飲食となります。
- 4階東病棟から手術室へ向かいます。
- 手術が終了したら看護師（または医師の迎え）で4階東病棟に戻ります

<ご家族>

- 手術当日は4階東病棟のデイルームでお待ちください。
必ずどなたかお一人はいらしてください。
やむを得ず病棟を離れる場合は、看護師に声をあかけください。
- 手術室から手術経過について連絡があった場合は、4階東病棟の看護師がお伝えします
- 手術が終わり次第、主治医から説明をさせていただきます
- 主治医からの説明が終わりましたら、再度4階東病棟のデイルームでお待ちください
- 手術後会見可能になれば看護師が声をあかけします



浴室の使用方法



改善ポイント

- 手術を受ける方用の説明を追加
- 家族の待機場所などを写真を用いてわかりやすくした

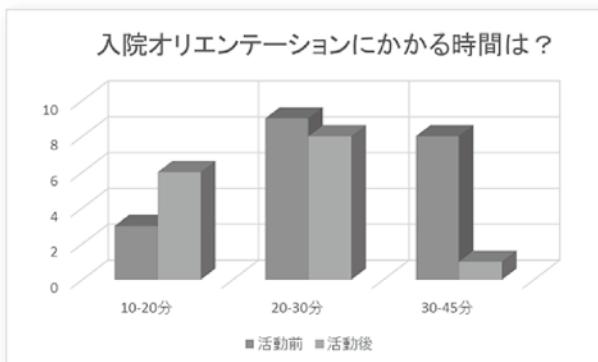
実施③

看護補助者への依頼事項を整理し「定時入院患者の病棟案内の流れ」について記載したものを作成。実際の流れは、患者到着とともに身長・体重測定をし、デイルームへ誘導し待機する。入院予定患者がそろったら、病棟と病室への案内を開始。アメニティを配布し、ベッドネームにアメニティプランを表示するリングをつける。案内を終了したことを、入院を担当する看護師に伝えるまでを依頼事項として挙げた。

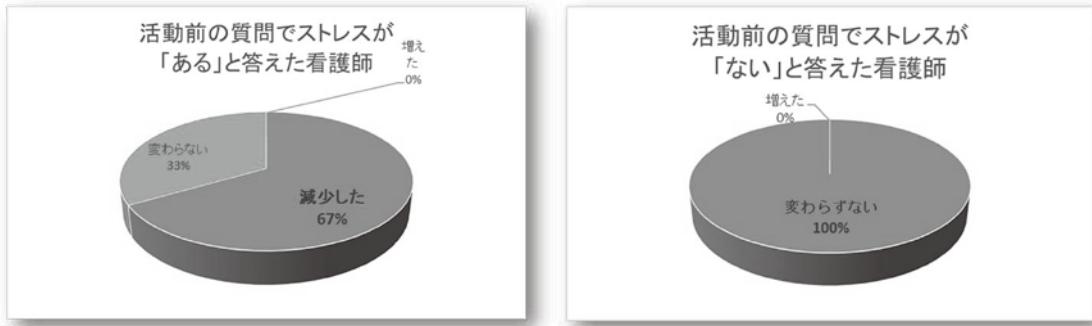
効果の確認

① 4 東病棟看護師へアンケートを用いて活動前、活動後で比較

30分～40分かかっていた時間は87.5%減少あり。10分～20分が50%増加している。



活動後のストレス変化については、ストレスを感じていた看護師の67%が活動後ストレスが減ったと回答あり。



②面接、自由記載にて、それぞれの担当者から回答をもらう。

〈入退院支援センター〉

事前にパンフレットを読んでもらうことで入院中の生活が出来て良い。記入欄が狭いところがある。食事については硬さやムセの有無の確認事項がありよかったです、入院までに読んでもらえるか不安などの回答あり。

〈看護補助者〉

デイルームでの待機はスペースが少ないとからナースステーション前でいすを並べ待っていただくよう工夫した、パンフレットを持参していない患者が多い、看護補助者が一人で対応するため焦ることがあるが大きく困ったことはないと回答あり。

〈4 東病棟看護師〉

「読んでない、知らない」という患者が多く、入院支援センターの説明がどこまでしてあるのか、家族待機説明は当日するのか、本人用を家族が読んでもらうしかないのか、オーバービューの中に転棟説明を入れてみてはどうか、看護師が患者の案内をすることがなくなった分、他の業務に当てることができたと回答あり。

無形効果

- ・入院オリエンテーション時間の短縮ができ業務負担軽減効果に繋がった
- ・業務を看護補助者に業務移管することにより、看護師が本来業務により専念することができるようになった
- ・活動を通して入退院支援センターへ働きかけもでき、問診票の充実、術前説明集約化による説明業務の標準化が図られ均一なケア提供につながることができた

標準化と管理

	何を	なぜ	誰が	いつ	どこで	どうする
標準化	4東用の問診票・パンフレットを	患者・家族背景を十分に把握でき活用できるように患者、家族が入院前に不安なく手術へ臨めるように	4東師長	7月から	入退院支援センター	問診票、パンフレットを必ず活用するよう周知
	定時入院患者が来た時に看護補助者が病棟案内	看護補助者が統一して病棟案内を実施できるように	TQMメンバー	6月から	4東病棟	追加、修正した「定時入院患者の案内の流れ」をラミネートしたものを活用
管理	病棟用パンフレットをラミネート（予定）	入院時にパンフレットを持参していない患者のため	TQMメンバー	7月から	4東病棟	看護補助者が病棟案内対応時に配布できるように作成
	オーバービューへ2階病棟転棟説明を新たに追加（予定）	手術前に「転棟について読んでいない、知らない」患者、家族を減らすため	TQMメンバー 4東師長	6月から	バス委員	バスの見直し、2階への転棟説明を追加することを依頼し作成
	問診票・パンフレットの管理	患者背景を的確にとらえ看護に役立てるために	TQMメンバー	7月までに	4東病棟	追加・修正したものを入退院支援センターへ配布
教育	効果確認を	目標達成しているか確認するため	TQMメンバー	半年後	4東病棟	アンケートで評価し追加、修正

今後の課題

ステップ	よかった点	反省点
テーマ選定	問診票やパンフレットの見直し、業務内容の移管を考える良いきっかけとなった	
現状把握	問題を明確化することができた	必要なデータの絞り込みに時間がかかった
要因解析	アンケートをおこなったことにより様々な視点で問題点を洗い出すことができた	
対策立案・実施	入院オリエンテーションの見直しに向けて他部署を交えておこなうことができた	資料作成に時間を要した
効果の確認	アンケートの結果では入院対応の時間が減少し他の看護業務への有効活用が増えた	活動後もストレスや負担が減少していないと感じる看護師もいる
今後の課題	・問診票・パンフレットの更なる有効活用　・手術患者、その家族の「知らなかった」をなくしていくために他部署を交えた見直し、検討をしていく	